

# 番組審議委員会議事録

株式会社 衛星劇場

1. 開催年月日 平成 21 年 7 月 28 日（火） 12：00～13：30
2. 開催場所 銀座東武ホテル
3. 委員の出席 委員総数 7 名  
出席委員数 6 名（中村芝翫、山内静夫、品田雄吉、田中康義、  
堀江ミエ子、安井憲彌）  
欠席委員数 1 名（小山観翁）
4. 放送事業者側出席 5 名（久松猛朗 [代表取締役社長]、山崎克己 [常務取締役・  
技術担当]、福島幸一 [取締役・営業担当]、井田寛 [取締役・  
編成担当]、鶴澤由紀 [編成課長]）
5. 議事の概要
  - ・衛星劇場及びホームドラマチャンネルの現状報告
  - ・今後の放送番組について
  - ・出資作品の現状報告
  - ・その他
6. 議事内容
  - ・衛星劇場  
モニターの向こう側（視聴者）のことを考えた編成をしていく。  
→スカパーの解放デーを利用したり、スクランブルをはずすなどの工夫。  
日本のエンタテインメント、邦画、歌舞伎のいいところを伝えていく。  
韓流の大作は受けもいいが、競合も多い。  
8 月から 3 カ月連続で韓国映画は 4 本から 8 本に増加。
  - ・ホームドラマチャンネル  
時代劇の強化。  
→『江戸を斬る』などをやることで、反響が増えている。  
民放からの調達を増やす。
  - ・営業報告  
衛星劇場、ホームドラマともに、苦しい状況が続く。

4月より IPTV が748件増加。今後はこの部分に期待をしていきたい。

- ・製作出資

今後も製作出資を継続し、安定した作品確保につなげていく。

以上